

ドイツ・スイス放射線測定所訪問記－藤野健正

－スイス放射線測定所が自参乳歯 80 本の Sr - 90 分析測定を引き受けてくれた－

・2013年5月28～6月2日にかけて、ドイツ・スイスの放射線測定所を訪問するとともに、現地の IPPNW 幹部医師との交流をしてきた。

・私とD歯科医師は、アレックス&ローゼ氏（アレックス氏はチェルノブイリ原発事故以来ドイツにおける食物等の被曝情報を27年間毎月発信してきた元大学教授）と合流。翌朝は、T女氏及びベルリン在住のジャーナリストKさんたちと合流し、ドイツ放射線防護教会・ベルリン市放射線測定所を訪問した。放射線測定所所長及び技術スタッフのレクチャーを受けたのち施設内を見学させてもらった。

・元バーゼル大学教授のフェルネン氏紹介のスイス・バーゼル州立放射線測定所訪問した。このラボではスイスの子供の乳歯に含まれているストロンチウム 90 を 1953 年から今日まで毎年調べていた。またチェルノブイリ地域の子供の乳歯も 64 本調べていて、スイスの子供と比較した報告書を入手した。担当者の話では、スイスの子供の約 10 倍のストロンチウム 90 が検出されているとのこと。検査機器は最新式のもの揃えていた。スタッフの説明によると高レベルの設備も大切だが何よりも経験がものを言うと言っていたのが印象的であった。私たちの「乳歯保存プロジェクト」の取り組みにとっても高い評価を示してもらえ、**持参した乳歯 80 本の分析依頼を快く引き受けてもらうことができた**ことは今回のミッションの最大の成果であった。

